

身元保証問題プロジェクト意見交換会が行われました

令和6年7月25日(木)に開催された第4回目プロジェクト委員会は、この問題に10年程前から取り組まれている愛知県医療ソーシャル協会の方にご協力を頂きながら『保証人不在者対応マニュアル』作成までの取り組みについて情報提供頂きました。仕事終わりの19時からにも関わらず、愛知県県協会からも6名の方がオンラインで参加下さいました。

当協会の小泉会長の挨拶に続き、宮崎プロジェクトリーダーから①昨年度後半にプロジェクトチームを立ち上げたこと、②アンケート調査や研修会の実施、③新聞記事掲載の活動を行ってきたことが、今後の具体的な方向性を模索していることが報告されました。

愛知県医療ソーシャルワーカー協会の川本氏より『保証人問題委員会の取り組み』と題し、【保証人不在者対応マニュアル】作成までの取り組みや課題について情報提供頂き、続いて質疑応答や意見交換が行われました。身元保証人がいない患者の受け入れがスムーズではない要因として、行政との連携不足が挙げられ、県との協力関係構築の難しさが指摘されました。また、身元保証団体の活用についても協会として対応する必要性が示されました。

私たちが支援する方が身寄りの有無に関わらず必要な治療やサービスを利用・選択することが出来るよう、またそのような支援に関わることになった際に迷わないマニュアルとなるよう、今回の学びを生かしながら活動をしていきたいと思えます。

愛知県医療ソーシャルワーカー協会の方々には、貴重なお時間を頂き深く感謝致します。

今年度も12月頃に研修会を開催する予定にしておりましたので、是非たくさんの方のご参加をお待ちしております。

(文責：中居倫子)